[43] 南スーダン

主要経済指標等（2012年）

- ●人口 …… 1,084万人
- ●GNI総額 …… 96.12億ドル
- ●GNI一人あたり …… 840ドル
- ●経済成長率 …… -49.0%
- ●失業率 …… －
- ●対外債務残高 …… －
- ●援助受取総額（支出純額） …… 15.78億ドル
- ●DAC分類 …… 後発開発途上国
- ●世界銀行分類 …… ii／低中所得国

出典）WDI（世界銀行）等。詳細は解説参照

表－1 我が国の対南スーダン援助形態別実績（年度別）

（単位：億円）

年　度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	－	－	－
2010 年度	－	－	－
2011 年度	－	2.20	19.58(19.58)
2012 年度	－	58.30	17.14(17.13)
2013 年度	－	57.13	23.18
累　計	－	117.63	59.90(59.89)

※脚注参照

ミレニアム開発目標（MDGs）代表的な指標	過去データ	最新データ
●目標１：１日1.25ドル未満で生活する人々の割合	－	－
●目標２：初等教育における純就学率	－	－
●目標３：初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率（男子を１とした時の女子の人数）	－	－
●目標４：５歳未満児の死亡数（1,000人あたり）	－	－
●目標５：妊産婦の死亡数（出生児10万人あたり）	－	－
●目標６：15～49歳のHIV感染率（100人あたりの年間新規感染者数の推定値）	－	－
●目標７：改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	－	－

出典）Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

南スーダンに対する我が国ODA概要

1．概要

我が国は、世界で最も新しい南スーダンの国造り支援を目的として同国の平和の定着を支えるべく、二国間援助を中心に、国際機関やNGO等市民社会を通じた支援等、積極的な支援を行っている。また 2011 年 11 月から国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）に派遣されている我が国自衛隊施設部隊の活動とも連携を図り、相乗的な効果を得られるよう支援を進めている。

2．意義

南スーダンは、長期にわたる内戦の結果、基礎インフラの荒廃、石油産業以外の代替産業の未発達、基礎的な社会サービスの欠如に起因した著しく低い人間開発指標、深刻な人材不足、地方部における不安定な治安情勢等の課題が山積している。また 2013 年 12 月の情勢悪化は、多くの難民および国内避難民を生む結果となり、人道支援の拡充が喫緊の課題である。

我が国が南スーダンの国造りを支援することは、同国の平和の定着に資するのみならず、アフリカ全体の安定に大きく寄与するものである。また、原油を中心とした豊富な天然資源を有する同国との二国間関係を強化することにも寄与する。

3．基本方針

我が国は、1955 年以降 2 度にわたるスーダン内戦を経て、2011 年 7 月に独立を果たした南スーダンの国造りを支援するため、南スーダン開発計画を踏まえ、基礎的な経済・社会インフラ整備、代替産業育成、基礎生活、生計向上、ガバナンスおよび治安能力向上にかかる支援を行うとともに、国内避難民等に対する人道支援を継続することにより同国における平和の定着を支える支援を行う。

4．重点分野

（1）基礎的な経済・社会インフラ整備：長期の内戦により荒廃した運輸・水・電力等の社会基盤インフラの整備について、我が国技術の活用も視野に入れつつ積極的に支援する。

（2）代替産業育成：同国において高い潜在力を有する農業分野を中心とした代替産業育成に必要な支援を行う。

（3）基礎生活および生計向上支援：国民の基礎生活および生計の向上を目的とした保健・基礎教育・職業訓練分野への支援および国内避難民等への人道支援を行う。

（4）ガバナンスおよび治安能力強化向上支援：同国のガバナンス改善および治安向上を目的とし、税関、国境・出入国管理等を含む行政能力、治安分野、メディア分野等における支援を行う。

※注）1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。
2. 2009年～2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
（ ）内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表－2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表－1の詳細）

(単位：億円)

年　度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011年度	な　し	2.20億円 ・食糧援助（WFP連携）(1件) (2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件) (0.20)	・ジュバ市持続的な道路維持管理能力強化プロジェクト　[11.09～15.03] ・ジュバ廃棄物管理能力強化プロジェクト　[11.10～14.10]
2012年度	な　し	58.30億円 ・ジュバ河川港拡充計画（詳細設計) (0.75) ・ジュバ市水供給改善計画　(1.92) ・ジュバ市水供給改善計画（国債2/3) (20.48) ・ナイル架橋建設計画（詳細設計) (1.31) ・緊急無償（南スーダン共和国に流入したスーダン人難民に対する緊急無償資金協力（UNHCR連携)）　(1.65) ・国境及び出入国管理計画（IOM連携) (4.29) ・ジュバ河川港拡充計画（国債1/3) (3.94) ・ナイル架橋建設計画（国債1/4) (20.30) ・食糧援助（WFP連携）(1件) (2.50) ・草の根・人間の安全保障無償(6件) (1.16)	・南スーダンTV・ラジオ組織能力強化プロジェクト　[12.12～16.11]
2013年度	な　し	57.13億円 ・ジュバ市水供給改善計画（国債3/3) (16.29) ・ジュバ河川港拡充計画（国債2/3) (12.48) ・ナイル架橋建設計画（国債2/4) (26.18) ・食糧援助（WFP連携）(1件) (1.90) ・草の根・人間の安全保障無償(3件) (0.28)	
2013年度までの累計	な　し	117.63億円	59.90億円(59.89億円) 研修員受入　246人 専門家派遣　352人

注）1．表－1注釈同様
　　2．技術協力においては、2011年度以降に開始され2013年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の［ ］内は、協力期間。

表－3　我が国の対南スーダン援助形態別実績（OECD/DAC 報告基準）

（支出純額ベース、単位：百万ドル）

暦　年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合　　計
2009 年	－	－	－	－
2010 年	－	－	－	－
2011 年	－	8.71 (8.71)	16.85	25.56
2012 年	－	48.09 (46.79)	26.94	75.03
2013 年	－	57.64 (45.05)	22.71	80.36
累　計	－	114.44 (100.54)	66.51	180.94

出典）OECD/DAC

注）1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力に計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。（　）内は、国際機関を通じた贈与の実績（内数）。

2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、南スーダン側の返済金額を差し引いた金額）。

3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。

4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表－4　諸外国の対南スーダン経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦　年	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		うち日本	合　計
2008 年	－		－		－		－		－		－	－
2009 年	－		－		－		－		－		－	－
2010 年	－		－		－		－		－		－	－
2011 年	米国	707.42	英国	83.00	ノルウェー	60.27	カナダ	48.98	デンマーク	35.89	25.56	1,041.66
2012 年	米国	773.34	英国	173.24	日本	75.03	ノルウェー	73.59	スウェーデン	72.23	75.03	1,433.05

出典）OECD/DAC

表－5　国際機関の対南スーダン経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦　年	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		そ の 他	合　計
2008年	－		－		－		－		－		－	－
2009年	－		－		－		－		－		－	－
2010年	－		－		－		－		－		－	－
2011年	GFATM	35.15	UNICEF	7.10	UNDP	4.00	GEF	1.09	UNPBF	0.13	0.01	47.48
2012年	EU Institutions	46.87	GFATM	44.58	UNHCR	17.33	WFP	16.23	UNICEF	7.86	14.21	147.08

出典）OECD/DAC

注）順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表－6　実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件（開発調査案件を含む）（開始年度が 2009 年度以降のもの）

案　　件　　名	協　力　期　間
アッパーナイル州マラカルタウン社会経済インフラ総合開発及び緊急支援計画策定プロジェクト	12. 1～14. 6
包括的農業開発マスタープラン策定支援プロジェクト	12. 7～14.12
灌漑開発マスタープラン策定支援プロジェクト	12. 9～14.12

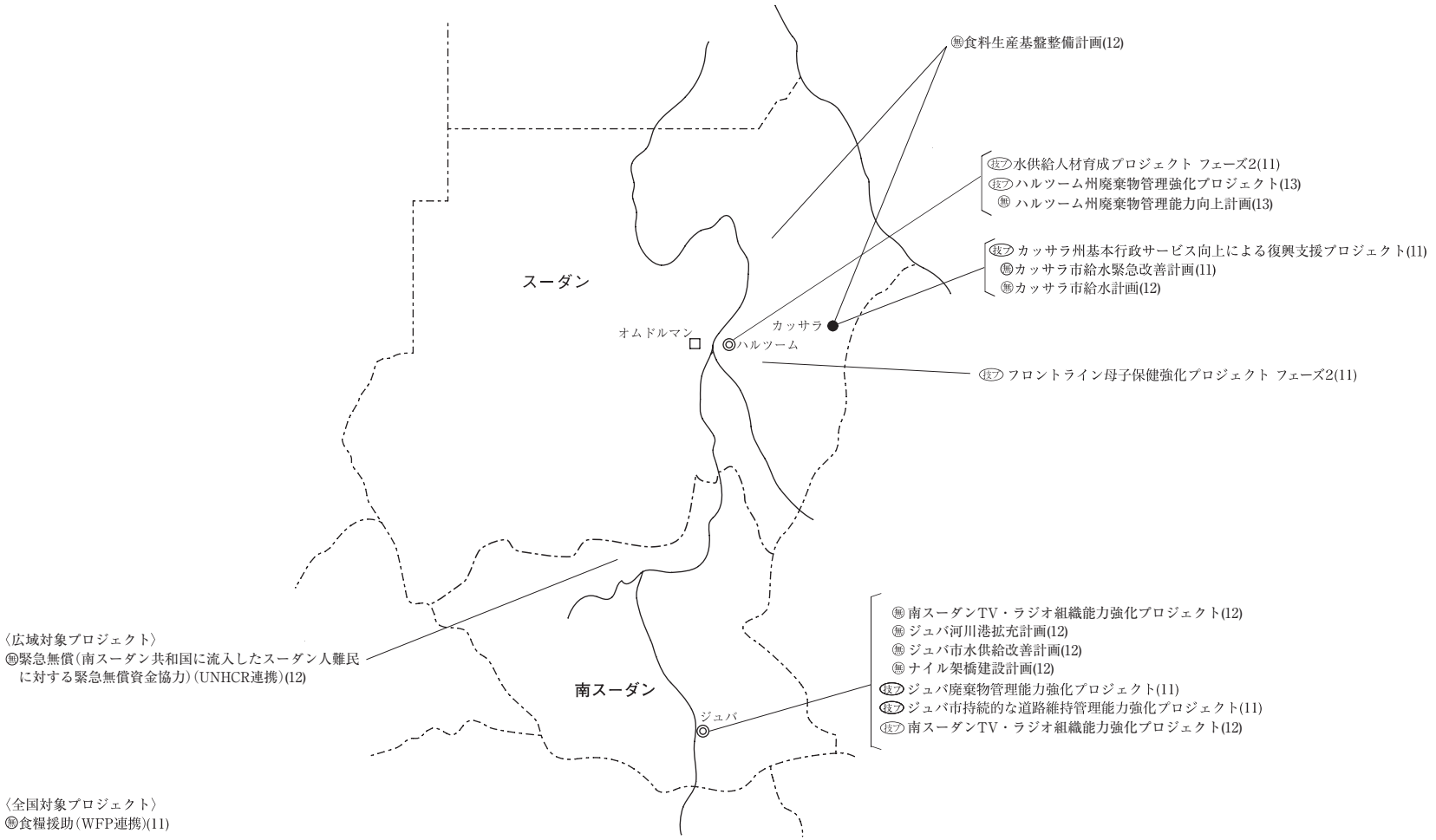
出典）JICA

表－7　2013 年度実施協力準備調査案件

案　　件　　名	協　力　期　間
ジュバ市内ロロゴバイパス及び小規模橋梁整備計画準備調査	13．2～15．3
マラカルタウン給水改善計画準備調査	13．7～14．5

出典）JICA

表－8　2013 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案　　件　　名
西バハル・エル＝ガザール州コルガナ・ジャディード女性自立支援センター・幼稚園建設計画
中央エクアトリア州テレケカ郡リジョング・プライマリーヘルスケアセンター母子保健能力強化計画
東エクアトリア州パゲリ地区モリ村水・衛生環境改善計画

主なプロジェクト所在図　　**スーダン、南スーダン**